

	実践内容	アンケート内容	4段階評価		平均	昨年	○成果 ●課題 □改善方策	学校関係者評価委員の評価・所見
学習に関して	1 「わかる授業」実現のための指導方法工夫改善	■先生の授業はわかりやすいか。	生徒	3.2	3.1	3.1	○主題研究で「板書の工夫」について研究し、共通実践を行った。 ○1人1人研究授業を実施し、教師相互に評価し合いスキルの向上に努めた。 ○英語科の英単語コンテストや県英テストにおいて成績上位を修めた。 ○授業態度はどの学年も概ね良好である。 ●低学力層のさらなる引き上げが望まれる。 □個別指導の時間確保や課題の与え方の工夫が必要である。	3.6
		■先生の授業はわかりやすいと思うか。	保護者	2.9				
		■わかりやすい授業を工夫しているか。	職員	3.1				
2	保護者と協力しながらの家庭学習の充実	■宿題や延中ノートを毎日提出しているか。	生徒	3.7	3.2	3.1	○延中ノートの提出状況は概ね達成できている。 ●提出が遅れる生徒が固定化している。 ●その他の提出物の期限内提出が達成できていない状況がある。 □基本的な学習習慣のさらなる確立支援と提出物の期限内提出指導の徹底。 □延中ノートについては、その効果を検証し、次年度は「生活ノート」+「宅習ノート」の形で 行う。	3.6
		■延中ノートの記載・提出を確認しているか。	保護者	2.9				
		■家庭学習を充実させる指導をしているか。	職員	2.9				
3	自立した社会人・職業人の育成を目指すキャリア教育の推進	■将来の生き方を考え意欲的に学習しているか。	生徒	3.2	3.0	2.9	○外部人材を活用した授業を数多く行うことで、より生の声を生徒に伝え、将来を真剣に考える機会にできた。 ●生き方や将来の職業について学んでいるが、それが必ずしも学習意欲や学習量に直結しているとは言えない。 □「フューチャーズ」等、保護者にも案内し、生徒と共に考えるキャリア教育が必要である。	3.6
		■意欲的に学習するよう指導しているか。	保護者	2.8				
		■意欲的に学習するよう指導しているか。	職員	3.0				
生活に関して	4 保護者の協力を得ながらの7時45分登校の推進	■7時45分までに校門を通過しているか。	生徒	3.9	3.5	3.6	○概ね時間通過は守られている。 ○教師の評価が低いのは、概ね時間が守られているため、特段の指導を要しないものと考えられる。 ●遅延気味で登校する生徒は固定化している。 □遅延気味の生徒に関して、家庭の協力を得ながら生活習慣の確立を目指す。 □登校時間以外の時間厳守(2分前行動・下校時間)について意識して指導をしている。	4.0
		■時間までに校門を通過できるよう送り出しているか。	保護者	3.8				
		■時間までに通過するよう指導しているか。	職員	3.0				
5	保護者の協力を得ながらの基本的な生活習慣や態度の育成	■学校の約束(服装・きまり)をしっかり守っているか。	生徒	3.7	3.6	3.6	○概ね守られている。 ●校外での生活において、帰宅時間やゲームセンター出入り等、指導をする場面があった。 ●一部容儀服装の乱れがあった。 □今後も各家庭にも校外での過ごし方や帰宅時間について周知し、協力をあおぐ。	4.0
		■学校の約束をしっかりと守るよう指導しているか。	保護者	3.7				
		■学校の約束をしっかりと守るよう指導しているか。	職員	3.5				
6	生徒の主体的な活動を充実させ、積極的に取り組む態度の育成	■清掃・係活動・生徒会活動に真摯に取り組んでいると思うか。	生徒	3.6	3.5	3.5	○無言清掃は徹底できている。生徒会活動についても主体的に取り組む様子が見られる。 ○学力クラスマッチ等、生徒会主催で学級の団結を促すような取組が行われた。また、SCWでは地区生徒会単位での活動を行うことができた。 □今後も生徒会役員を中心に、生徒会主体の活動を活性化し、乗り気でない生徒も巻き込んで行くことで、生徒の団結と活力を高めていきたい。 □地域協同による清掃活動や防犯活動等、コミュニケーションの視点を推進したい。	4.0
		■清掃・係活動・生徒会活動に真摯に取り組むよう指導しているか。	保護者	3.6				
		■清掃・係活動・生徒会活動に真摯に取り組むよう指導しているか。	職員	3.4				
心と身体に関して	7 思いやりの心と、人権感覚を身につけた実践力ある生徒の育成	■いじめ・嫌がらせ等、絶対許さない気持ちをもっていると思うか。	生徒	3.7	3.5	3.5	○概ね良好な人間関係の元で助け合い協力し合いながら生活している。 ●心ない言動も見られ、教育相談アンケート等での訴えをもとに指導した場面もあった。 □できるだけ生徒とふれあう時間を確保し、細かな変化にも迅速に対応したい。また、注意を要するケースはチームで対応する。 □またそのことで客観的事実に基づいて保護者に説明できるようにしたい。 □今後もQUや悩みアンケートを定期的実施していきたい。	4.0
		■させない指導とアンテナを高めているか。	保護者	3.5				
		■させない指導とアンテナを高めているか。	職員	3.2				
8	時と場に応じた態度や笑顔であいさつできる生徒の育成	■気持ちのこもったあいさつができていると思うか。	生徒	3.3	3.1	3.2	○新しく赴任した教員はあいさつの良さに感心すると共に、気持ちの良い毎日を過ごしている。また、立ち止まってあいさつする生徒も多い。 ●しかし、形式的であったり、元気のない生徒もいるため引き続き「あいさつ日本一」を掲げ推進していく必要がある。 □部単位や学級単位の早朝あいさつ運動を継続する。また、地域での笑顔でのあいさつも一層意識して行えるよう意識付けしていきたい。	4.0
		■気持ちのこもったあいさつの指導をしているか。	保護者	3.1				
		■気持ちのこもったあいさつの指導をしているか。	職員	3.1				
9	健康の増進と体力の向上に意欲的に取り組む生徒の育成	■むし歯の治療や体調管理に気をつけ、欠席等少なくなるよう努力しているか。	生徒	3.7	3.4	3.4	○むし歯の治療率はどの学年も90%を超え、部活動生に至ってはほぼ100%である。 ○2学期までの皆勤者数は、1年:35/90、2年:39/113、3年:50/101で非常に高い。 ●病気や不登校による長欠者数が様々な取組をしているがなかなか減らない状態にある。 □欠席者への電話連絡や3日欠席が続いた際の家庭訪問、級友の力を借りた支援等、長欠者をつくらぬ取組を継続する。	4.0
		■体調管理に気を付け、欠席等少なくなるよう努力しているか。	保護者	3.5				
		■体調管理に気を付け、欠席等少なくなるよう努力しているか。	職員	2.9				
関家庭に	10 保護者と協力しながら、情報機器の使用について考え、正しい実践力の育成	■家庭で情報機器(TV,PC,スマホ等)を使わない日を設定しているか。	生徒	2.3	2.3	2.4	○情報教育については、専門化を招いての講話の他、終業式等を利用した全体指導、日常的な学級指導を行っている。 ●保護者への啓発の面で、継続的な取組ができなかった。 ●アンケートにテレビ視聴も含まれているため低い評価になっている可能性もある。 □次年度のアンケート項目はTVを外し、純粋にPCやスマホ等のネット利用について調査したい。 □国・県・市のチラシ等を積極的に活用し、途切れない指導を展開する。	2.4
■情報機器の使用について考え、正しい実践力の育成	保護者	2.1						
■情報機器の使用について考え、正しい実践力の育成	職員	2.5						

学習に関して

○学力クラスマッチ(全学年同一問題)は良い取組である。 ○検定受検者が増加している。
○本日の参観日、道徳の授業がどの学級も良かった。生徒が惹きつけられ授業に臨む態度も良い。
○英語の授業で英語の歌を歌う声が聞こえます。英語の学力が高いのを実感します。
■学年により学力差がある。また、教科差も見られる。
■県平均を超える教科が少ない。
□数学が平均的なものは、はげまし隊の効果もある。
□授業態度は良好。もう少し集中して受ければ成績は確実に上がると思う。
□学力だけではなくいろいろな体験が将来に役立つ。
□最近では新聞を取っていない家庭が増えている。新聞の活字離れも見られる。「全ての学級に新聞を」の活動で新聞販売店から新聞が届いている。生かしてほしい。

生活に関して

○生徒会の取組が素晴らしい。○生活態度が良い。
○大きな声であいさつしてくれる。
○学校外でも、卒業生もあいさつしてくれる。
○以前に比べ学校が落ち着いている。
○登校時間ギリギリの子も走って急いで登校しようとしている。 ○なかしま児童館では、中学生が小学生に良い影響を与えてくれている。
□地域美化活動(SCW)はとでも良かった。続けてほしい。
□自由の中にもきまりはある。決まりを守りのびのび活動してほしい。 □スマホ持込許可の流れには反対。
□合唱コンクールで毎日放課後も練習し、音楽の苦手な子も含めクラス全員が大きな口を開け歌っていた。そこには普段教室で見ることのない顔があり、学校行事を通じて仲間意識が生まれ、人間関係が作られていた。

心と身体に関して

○歯の治療率は大変高い。今後、むし歯予防にも取り組んでもらいたい。

家庭に関して

□子どもは変わらない。取り巻く環境が変わっている。親が変わってきている。子どものしつけができていない親もいるのでは。
□保護者が子どもを適切に把握し、教育できているかが大切だ。 □親子の会話が大切である。 □親が先生任せになってはいけない。 □家庭環境が子どもに大きな影響を与える。
□ネット社会で情報が溢れている。各家庭で新聞を目の前においていろいろなトピックについて話し合いをしてはどうか。

その他

○多岐にわたる教育活動の取組が見られる。
○学力だけでなくものを学校で築いてくれている。
○特に女子生徒の輝きが多く見られ、大人の気持ちも動かされる。母校に誇りを持つ。
■参観日であるが、保護者が学級に入らず廊下で私語をしているのが見受けられる。
□保護者の意見もいろいろあるが、+αの学びが将来、人間力として役に立つと思う。
□社会人の基本的な動作は、決めたこと・決められたことを確実に実行することにあると思う。中学生のうちから